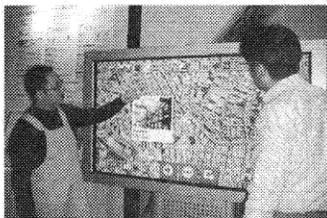


## 対面型でネット検索 スタッフが手助け

◎:「本当にほしいものが一人ではネットで探し出せないし、対面型で手伝ってくれるのがいいよね」。国立情報学研究所の検索技術などを使い、NPO法人連想出版(東京都千代田区、高野明彦理事、03・4212

・2708)が運営する東京・神保町の「本



### 連想出版 神保町(東京)で本と街案内

と街の案内所」が人気を呼んでいる。「孫に寺子屋の教科書を見せたい」「川柳の古川流の本を探している」といったニーズにボランティアスタッフが対応してくれるからだ。

◎:案内所では、古書店マップや古書データベースを持つ「BOOK TOWN じんぼう」や、街の歴史や食案内もある「神保町へ行こう」などのネットサイトを連動させており、一人で利用することもできる。けれども、ばくせんとしたテーマで情報を探している場合には、それに長

けた人に手伝ってもらえるメリットは大きい。大型タッチパネルに写した街の航空写真を動かして、目的の店への道案内までしてくれる(写真)。

◎:対面での相談は日に30人ほど。平日は定年後の世代が多く、和紙の専門書を探すなどの外国人も少なくない。子供の卒業論文の資料探しに両親が訪れたこともあるとか。「来訪者は知的関心が高い人ばかり。先日はヨガ行者の関連本を探しに来た年配者が、ひとくさり論じていきました」とスタッフの一人はいう。神保街らしさを生かした、リアルなコミュニケーションが楽しめるようだ。

 **日刊工業新聞**  
Business & Technology